



三重県ユニセフ協会機関誌

みえユニセフレター

Mie Unicef Letter 2022

Vol. 17
2022.9

三重県ユニセフ協会 評議員 就任メッセージ

みえユニセフの皆さま、初めまして。ご縁があって寄稿させていただくことになりました。世界におけるユニセフの活動と状況報告を見させていただくと、世界のすべての子どもが公平な機会を得られるためには懸命な努力が必要だと痛感します。常々、日本国内における子どもの貧困の問題とあわせて、世界中の支援を必要としている人々、特に子どもたちの状況についてよく理解しておく必要があると考えています。コロナの影響でこの2年間は不活発ですが、どの大学でもグローバル人材の育成は懸案の事項となっています。本学においてもとりわけ教員養成課程を履修し、小・中・高の教員を目指している学生には世界の子どもたちが置かれている教育・保険・栄養・衛生の状況にある程度、理解し、その問題点を考えてほしいと思います。教員になると目の前の子どもたちへの対応に日々、追われることになると思いますが、在学中に世界の子どもたちと日本の子どもたちの置かれている教育環境、生活環境の違いなどについて深く理解し、将来の子どもたちへの教育に活かしてもらいたいと思います。現地に赴くことは難しいにしても、卒業後も自ら情報を収集し、探求することを継続し、世界と将来を見すえつつ、広い視野のもと、次世代を担う子供たちの教育に関わってもらいたいものです。大学として学生に対する要望は多々ありますが、今、学生を啓発し、示唆を与え、成長を促せるのは大学教員でもあります。今後も大学教育を通して子どもの権利に敏感で、将来の日本や世界に寄与できる人材の育成をすすめてゆきたいと考えています。

皇學館大学学長
河野訓

世界では、1日200円以下で暮らす「極度の貧困」層の人や栄養不足の状態に陥っている人の数が、新型コロナウイルス感染拡大をきっかけに増加しています。そして今、世界に襲いかかっているのが「食料ショック」です。NHKのニュースサイト「NEWSWEB」の特集記事によると、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻に伴って小麦やトウモロコシなどの国際価格が急騰。日本でも食料品などの値上げで家計の負担が重くなっていますが、干ばつや内戦の影響で食料不足に悩まされてきたアフリカや中東では食料危機がより深刻になっていて、貧困に苦しむ子どもたちの支援の現場にまで暗い影が及んでいるといいます。東アフリカのソマリアでは、深刻な栄養失調の子どもたちに「栄養治療食」が与えられます。ピーナッツや油、砂糖、粉ミルクなどで作るペースト状の高栄養食で、常温で保存ができ、開封するだけですぐ食べられることから多くの支援現場で活用されてきました。しかし原材料価格の高騰でこの治療食の価格が上昇。ユニセフは今までは世界で50万人を超える子どもたちが命の危険にさらされると危機感を募らせています。こうした状況の中、ユニセフの活動は、ますます意義が大きくなっていると感じます。確かな情報を届け社会に貢献する公共メディア・NHKの一員として、評議員を務めさせていただくことに身の引き締まる思いです。よろしくお願いいたします。

NHK津放送局局長
安西清磨

日本ユニセフ協会 団体賛助会員様(敬称略)

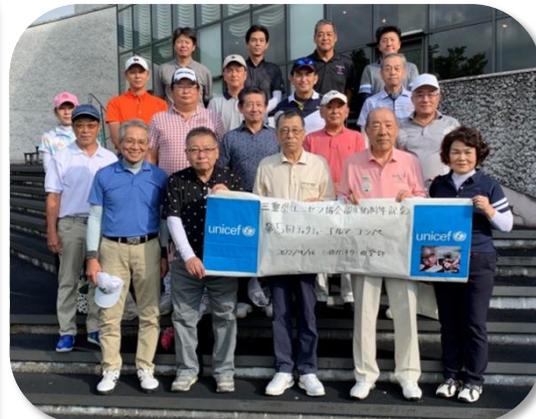
井村屋グループ(株) 生活協同組合コープみえ コープみえ虹の会 三重大学生活協同組合 日本トランスシティ(株)
三重県生活協同組合連合会 万協製菓(株) (株)三十三銀行 (株)百五銀行 三重交通(株) (株)スズカ未来 名四ゴルフ(株) 須藤(株)
辻製油(株) (株)岡田商事 チヨダウーテ(株) (株)ユタカ開発 (株)ミヤムラ ICDAホールディングス(株) (株)ウエノテック 村木建材工業(株)

募金活動

3/24 (株)三十三銀行 2,000,000円



9/16 第5回三重県ユニセフ協会
チャリティーゴルフコンペ
三鈴カントリー倶楽部
参加 19名 100,000円



賞品のご支援：日本トランスシティ、朝日海苔
生活協同組合コープみえ

イベント



フレンテパネル展
3/11-25、5/13-27、9/16-30



鈴鹿国際交流フェスタ
わいわい春まつり 4/24



フレンテまつり 6/23-8/31 展示及びWEB配信



御在所ユニセフDAY 8/1-10



津 平和のための戦争展 8/6-7

ボランティアWEB会議 1/8、15、22、29
鈴鹿高等学校2年生 出前学習会 1/13
三重県ユニセフ協会役員会 1/27
津商業高等学校 人権学習 2/16
事務局長会議WEB 2/24-25

コープみえ新入協者研修 4/4
津ロータリークラブ卓話 5/18
設立10周年記念事業実行委員会 7/29
ボランティア会議 8/28
運営委員会 6/6、8/18、9/6



フォトジャーナリズム展 8/11-14

退任にあたって 上野達彦

ユニセフ 雑感 — 設立の思い出

2010年頃のある日、生協の幹部の方が私のところに来られ三重県にユニセフ組織がないので、生協が中心となるユニセフ三重をたちあげたい、協力を願いたい旨の申し出があった。ユニセフは日本のみならず、世界中の貧困にあえぐ子どもたちに救援の手を差し延べるために設立された国連機関である。この子どものための国際組織は、子どもがいつの時代にもどのような地域でも全人類的価値として守り育てていかなければならない。私は、設立への期待を込めて協力を約束した。設立の手続きや準備は順調に進み、三重県にユニセフ設置への期待感も次第に高まってきた。このようななかで、準備も終盤に差しかかり、組織の長をどのように選ぶかに到ったときのことである。私はこの地域の組織の代表者として抜群の知名度と、子どもに対する慈しみと深い理解をもった人物を腹案としてもっていた。しかしこれに対して別の意見が出た。他の地方のユニセフはその地域の基幹大学の学長が兼務しており、三重もこれに習うべきとの意見である。この二つの意見について調整が図られた。大事なことは未来を背負う子どもの利益を最優先に考えるというユニセフの原点に戻り意見集約が図られ妥協案が示され、現在のような組織図が承認された。最後に、私のユニセフ観について述べておきたい。ユニセフ（UNICEF）は、国際連合の下部機関としての国際組織である。国連憲章はその前文において書かれているように、二度にわたる「悲哀を人類に与えた戦争の惨害から未来の世代を救うのは、大人しかない。戦争、災害、疫病、貧困、差別等に対して立ち向かう事は大人の責任に他ならない。2022年2月にロシアがウクライナに侵攻した。市街地に侵攻し多くの家屋を焼き払った。又子ども達を捕らえ何処へと連れ去った。蛮行、メディアが報じる無表情な子ども達、子どもの遺体に号泣する母親達等の報道写真を私は正視する事が出来ない。ユニセフは今後とも世界の子どものリーダーであり続けてほしいと願っている。



三重県ユニセフ協会理事
2012/12 - 2022/6



2012/8/29 発起人会



2012/12/4 設立大会



2013/6/7 フレンテまつり



2014/10/18 ラブウォーク



2015/6/11 キャラバン隊来県 懇親会



2018/4/10 井村評議員・上野理事
県民功労賞受賞記念 お祝いの会

三重県ユニセフ協会設立10周年記念事業開催 お知らせ

～みんなで達成しよう SDGs！～



日時 2022年11月23日（水・祝日）
場所 三重県総合文化センター（第二ギャラリー&大会議室）
 9:30～10:00記念式典（大会議室）
 10:30～16:00イベント（第二ギャラリー&大会議室）

**約30の 企業・団体がブース出展！
 2030年の達成に向けて行動しよう！**

ご来場お待ちしております！

ウクライナの子どもたちの命を守るためのご寄付にご協力ください。



日本ユニセフ協会HPより

東部ヨーロッパに位置するウクライナで、2022年2月に武力紛争が激化して半年。今すぐに人道支援を必要としている子ども数は、ウクライナ国内で300万人、避難先の難民受け入れ国で220万人以上にものぼっています。ユニセフはウクライナ国内に留まり、子どもたちと家族のための支援活動を継続するとともに、周辺国に避難しているウクライナ難民支援も強化しています。終息が見えず、子どもたちへの長期的な影響が懸念される中、ユニセフは、中長期的な視野に立った新たな支援計画を発表し、必要資金として

およそ9億4,900万米ドル(約1,186億円)の支援を国際社会に求めています(2022年4月時点、1米ドル125円で計算)。日本ユニセフ協会では2月25日より「ウクライナ緊急募金」の受付を開始し、ウクライナ国内および周辺国での子どもたちへの募金を呼びかけています。

発行：三重県ユニセフ協会

(事務所開設日：月・水・金 10時～17時)

TEL：059-273-5722 FAX：059-273-5758

〒514-0009 三重県津市羽所町379 コープみえ本部ビル1F

E-mail: mie-unicef@sweet.ocn.ne.jp ホームページ：<http://www.unicef-mie.jp>